

## SWOT 分析による課題および方針整理について

## 1. SWOT 分析とは

SWOT 分析は、企業や事業の現状を分析するため手法のひとつである。

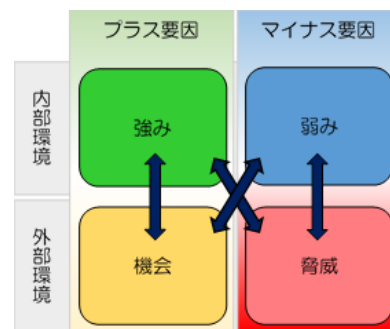
今回は、水道事業を対象に、「内部環境」、「外部環境」をそれぞれ2つのカテゴリーに分類して分析を行う。

**強み (Strength)**：目標達成に貢献する内部の特質

**弱み (Weakness)**：目標達成の障害となる内部の特質

**機会 (Opportunity)**：目標達成にプラスとなる外部の特質

**脅威 (Threat)**：目標達成の障害となる外部の特質



## 2. 目的

SWOT 分析により、内部環境と外部環境を組み合わせる分析（クロス分析）し、事業課題を明確にする。

	強み (S : strength)	弱み (W : weakness)
内部環境	<p>①自然・社会条件に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○水需要量が増加傾向にある。</li> <li>○水道普及率は 99.9%である。</li> </ul> <p>②水道事業のサービスの質に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○水質は安定している。</li> <li>○住民への情報開示を積極的に行っている。</li> <li>○災害時の相互応援協定を締結している。</li> </ul> <p>③経営体制に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○積極的に民間活用を行っている。</li> </ul> <p>④施設等の状況に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○機械・電気設備、管路の更新計画を策定している。</li> <li>○危機管理マニュアルが策定され、危機管理体制が確立されている。</li> </ul> <p>⑤経営指標に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○経常収支比率は 100%を超えている。</li> <li>○有収水量は増加傾向である。</li> </ul>	<p>①自然・社会条件に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○水質悪化による取水停止</li> </ul> <p>②水道事業のサービスの質に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○タイプ 3C での AM は未実施である。</li> <li>○住民との相互的な機会に欠ける。</li> </ul> <p>③経営体制に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○職員一人当たりの負担が大きい。</li> <li>○水道業務の経験年数が減少傾向にある。</li> </ul> <p>④施設等の状況に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○同規模事業体と比べ管路更新率が低い。</li> <li>○水道施設（管路含む）の耐震化率は低い。</li> </ul> <p>⑤経営指標に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○営業収支比率は 100%を下回っている。</li> <li>○料金回収率が 100%を下回っている。</li> </ul>
外部環境	<p style="text-align: center;"><b>機会 (O : opportunity)</b></p> <p>①自然・社会条件に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○水道法改正による基盤強化</li> <li>○循環型社会への転換</li> </ul> <p>②水道事業のサービスの質に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○住民の防災意識の高まり</li> <li>○多様化する市民要求によって新たな市民サービスが生まれている。</li> </ul> <p>③経営体制に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○官民連携の推進</li> <li>○ベテラン職員による技術継承</li> </ul> <p>④施設等の状況に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ICT/IoT 技術の活用</li> <li>○広域連携の推進</li> </ul> <p>⑤経営指標に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生活基盤施設耐震化等交付金等の補助金活用</li> </ul>	<p style="text-align: center;"><b>脅威 (T : threat)</b></p> <p>①自然・社会条件に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○人口減少型社会の到来</li> <li>○自然災害の激甚化</li> </ul> <p>②水道事業のサービスの質に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市民要求の多様化による事業領域を超えるサービス提供の発生</li> </ul> <p>③経営体制に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○水道職員の削減による体制の弱体化</li> <li>○水道職員の高齢化</li> </ul> <p>④施設等の状況に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○水道資産の更新時期の到来</li> <li>○未稼働施設の増加</li> </ul> <p>⑤経営指標に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○節水機器の普及による料金収入の減少</li> <li>○水道料金一部減免による料金収入の減少（新型コロナウイルス感染症）</li> </ul>





### 3. 分析結果

強み×機会：強みを生かし、成長機会による利益最大化のための戦略

強み×脅威：強みを生かし、脅威を切り抜けるための戦略

弱み×機会：機会による利益最大化のために、弱みを補強するための戦略

弱み×脅威：弱みを踏まえて、脅威から受ける影響を最小限に留めるための戦略

クロス分析	
強み  機会	
<ul style="list-style-type: none"><li>・積極的な民間活用による効率的な施設の維持・運転管理を推進する。</li><li>・適切な資産管理による水道施設・設備の計画的な更新を行う。</li></ul>	
強み  脅威	
<ul style="list-style-type: none"><li>・水道職員の削減が懸念されるため適切な民間活用を行う。</li><li>・広域的な自然災害に備えた近隣事業者等との応援協定を活用する。</li></ul>	
弱み  機会	
<ul style="list-style-type: none"><li>・水道法改正に伴い、施設の重要度、優先度を考慮した AM を実施する。</li><li>・住民の防災意識の高まりによる水道施設の計画的な更新、耐震化を行う。</li></ul>	
弱み  脅威	
<ul style="list-style-type: none"><li>・人口減少社会の到来に伴う料金収入の減少に備えた経営戦略の策定を行う。</li><li>・水道業務の経験年数の減少に伴い、積極的な技術継承を行う。</li></ul>	